



由布市 YUFU CITY COUNCIL

# 議会だより

No. 76  
2024年11月

## 由布市こども未来議会特集



◆希望の見えるまちをつくるために市内小中学生代表が市長に提案◆

※表紙写真の御応募ありがとうございました。審査の結果、今回はこの写真を採用いたしました。

### CONTENTS

- 【特集】 こども未来議会を開催しました . . . . . 1～2
- 令和6年第3回定例会 概要、議案質疑 . . . . . 3
  - 令和5年度決算質疑 . . . . . 4
  - 常任委員会報告 . . . . . 5～6
  - 意見書を提出しました . . . . . 6
  - 議長不信任案について . . . . . 7
- 市政を問う（一般質問） . . . . . 8～11
- 表紙写真の募集について . . . . . 11
- 研修報告（個人研修、常任委員会） . . . . . 11～14
- 請願・陳情結果、賛否一覧、編集後記等 . . . . . 裏表紙

# 由布市こども”未来”議会を開催いたしました!!

「由布市こども未来議会」は、由布市、由布市教育委員会、由布市議会の共催で、初めて開催しました。

由布市の未来を担う児童・生徒たちに、議会制民主主義を体験してもらうことで政治への関心を深め、由布市の将来を考えることで社会参画への意欲を育むことを目的としています。

また、このプログラムの中で議員の職責や仕事を知ってもらうことにより将来の選択肢を広げることや、保護者等関係者の皆さまにも議事を身近に感じてもらうことにも期待をしています。

- 開催日時：令和6年8月5日（夏休み中の一日）
- 参加議員：市内各小学校10校の児童（16名）  
市内各中学校 3校の生徒（5名）
- 場 所：由布市議会議事堂（由布市役所本庁舎新館3階）



# 由布市こども未来議員が市政を問う！

| 議長                | 通告議員 |                            | 質問事項                                                    | 答弁者         |
|-------------------|------|----------------------------|---------------------------------------------------------|-------------|
| 宮本こなつ<br>議長（湯布院中） | 1    | 林田 晴任（挾間中）                 | 初瀬井路沿いの道路の通行制限や拡張をして欲しい。<br>登下校の時間帯に車が多く、安全面に心配がある。     | 市長          |
|                   | 2    | 林田 友香（石城小）<br>ジャヤゴダディミシミドリ | 理科室と家庭科室が同じ部屋なのは問題がある。<br>清潔で使いやすい教室であってほしい。            | 教育次長        |
|                   | 3    | 利満 陽和（由布川小）                | 安心して元気に活動できる環境をつくろう。<br>体育館にエアコンを設置することを提案します。          | 教育次長        |
|                   | 4    | 伊藤 叶嘯（挾間小）                 | 挾間の特色を伝えていく必要があると思う。<br>挾間名物をつくり、多くの人に発信してほしい。          | 挾間振興<br>局長  |
|                   | 5    | 佐藤 喜帆子（谷小）<br>門口 琉歩        | 谷地区に公園をつくってほしい。<br>遊ぶのをガマンせずみんなで遊べる公園を。                 | 建設課長        |
| 林田晴任<br>議長（挾間中）   | 6    | 吉松 寿明（庄内中）                 | 庄内町の少子化を防ぐための取り組みは？<br>庄内を知ってもらうため、梨を通じてPRをしては？         | 市長          |
|                   | 7    | 江戸 千尋（西庄内小）<br>稲田 康太       | カンントリーパークのトイレが使いづらい。<br>使いやすいように掃除やトイレの整備をお願いします。       | 教育次長        |
|                   | 8    | 竹林 芽惟（阿南小）                 | 阿南小学校の周辺の環境。<br>阿南幼稚園を、公園やカフェとして再利用しては？                 | 教育次長        |
|                   | 9    | 平尾 陽菜里（東庄内小）<br>三重野 鈴奏     | 庄内地区にB&Gみたいな屋内プール施設が欲しい。<br>運動場に木陰になる大きな木が欲しい。          | 教育次長        |
| 稲田美和<br>議長（庄内中）   | 10   | 木部 和太郎（湯布院中）               | 湯布院が持続可能な故郷として存続していくためには？<br>10年後の湯布院町についてどう見通しを持っているか？ | 市長          |
|                   | 11   | 堀川 紗菜（塚原小）<br>橋本 謙三        | 野生動物による被害が多発しています。<br>農家さんの作物を守る丈夫な柵や網の設置支援を。           | 建設課長        |
|                   | 12   | 後藤 優月（由布院小）                | ゴミのポイ捨てをなくすことについて提案。<br>まちの環境を守りたい私達の思いが伝わるポスターを。       | 商工観光<br>課長  |
|                   | 13   | 大隈 陽菜（川西小）<br>森山 煌太        | 川西地区の未来について。<br>通学路の安全・新しい公園・空き家バンクや宅地の整地を。             | 湯布院振興<br>局長 |



市長 相馬 尊重

「由布市こども未来議会」は、今回初めての取組ですが、今日の経験が新たな気付きや学びとなり、身の回りのことや将来の由布市のことを改めて考えるきっかけになれば幸いです。そして、どの質問も、本当に身近で素晴らしい質問ばかりで、今日頂いたご意見や提案も踏まえてこれからのまちづくりに役立てていきたいと思います。

そして、その先の未来を担うのは皆様方です。その情熱と気持ちで、これからの由布市のことを更に考えていただき、皆さんが将来の由布市を担っていただくことを心から期待しております。皆さんがこれからも元気で活躍すること、そして由布市を支えて頂くことを心からお願い申し上げて、御礼の言葉とさせていただきます。（閉会のあいさつより抜粋）

初めての「由布市こども未来議会」開催にあたりまして、由布市全ての小中学校のご参加をいただき、携わった全ての方々に厚く御礼申し上げます。

当日に至るまでに自らの体験や事前学習、調査などを通して由布市の課題を見出し、将来像を描いて、積極的に提案まで、現職議員も顔負けの一般質問をしてくれたことに感心、感動を覚えました。また、緊張感のある議場の中で堂々と、自分の意見や考えを踏まえ、学校を代表して一般質問をしてくれた姿に頼もしさを感じました。皆様の意見や提案を市執行部も市議会もしっかりと受け止めて、これからのまちづくりに活かしていきたいと思います。

皆様には、将来の由布市の未来を担い、ふるさと由布市を愛し、シビックプライドを持って活躍していただくことを願っています。明日の由布市のため頑張っていきましょう！！



由布市こども未来議会  
実行委員長  
佐藤 孝昭

## 令和6年度第3回定例会概要

令和6年第3回定例会が9月4日に開会し、9月24日までの21日間開催され、提案された報告6件、認定2件、承認1件、議案18件、発議2件を審議しました。議案等すべて原案通り認定・承認・可決としました。また、陳情1件を継続審査としました。

そのうち、最終日に追加上程された議案6件は、ゴミ中継施設の建設に係る工事契約2件、台風10号災害対応補正予算2件、教師用指導書の購入契約の追認分2件であり、全て可決としました。

由布市議会から国へ、2件の意見書を提出しました。詳細は6ページです。

令和5年度決算特別委員会を設置し審議しました。詳細は4ページです。

### 固定資産税評価審査委員会委員の推薦

固定資産税評価審査委員会委員の任期が、令和6年11月17日をもって満了となるため、再び衛藤 純司氏(湯布院町)の推薦に同意しました。

### 議長不信任案が提出されました

詳細は7ページです。



## 議案質疑

**Q** 由布市みらいふるさと基金条例の運用状況について、福祉課の重層的支援の枠に使えるのか。

**A** 条例および施行規則により、市単独事業へ充当するようになる。重層的支援体制整備事業など義務的経費は、国県補助金などの財源を活用し実施していきたい。

**Q** 時代の要請に応じた教育の充実。災害管理等におけるタブレットの活用は。

**A** 学校からの休校等の連絡、保護者からの欠席等の連絡は、安心安全メールで行っている。保護者の登録アドレスから連絡を取り合っている。

**Q** 12月2日からマイナ保険証に移行。由布市でマイナンバーカードを持っている高齢者の数は。持っていない方に資格確認書等、丁寧な説明がなされているか。

**A** 65歳以上の1万1,350人のうち8,489人が所持。健康保険証の廃止に向け、今年の保険証更新時にリーフレットを同封し、マイナ保険証の利用促進を図っている。

**Q** 住民税、定額減税1人1万円の対象世帯数と人数、また定額減税減収補填特例交付金1億3,771万3千円の説明を。

**A** 定額減税対象人数は2万3,079人。定額減税減収補填特例交付金は、令和6年度定額減税による個人住民税の減収分を補填するもので、全額国費。

**Q** 湯布院交通渋滞対策事業の説明を。

**A** 市道前徳野岳本線(湯の坪街道)の約950メートルで、時間帯一方通行の実証実験を行うための委託料。

**Q** 小学校施設管理事業、西庄内小学校体育館の工事期間中の代替施設等はあるか。

**A** 事前に学校と協議をし、授業に支障がないよう調整していきたい。

## 令和5年度

## 決算質疑

## 市民税

Q 市民税滞納繰越分の収納率が20.8%。令和4年度(32.2%)から大幅に下がった要因と、収納率を上げる方法は。

A 昨年は、差押えをする財産のない滞納者等の処分停止、また過去に大量に差押えた換価に適さない不動産の差押え解除などにも力を入れていた。そのため、差押え件数が減少し、収納率も昨年を下回った。今年度は滞納整理の進捗管理を強化する体制を構築しており、ペイジーの導入もしながら、確実な納付につながってくると考えている。

## 固定資産税

Q 増額の要因は。

A 太陽光など大型の償却資産の増と、挟間や湯布院で新築の家が増えていることが要因と思われる。

## 湯布院交通渋滞対策事業

Q 事業の中身と、どのような対策ができたか。

A 国土交通省のAIやIoTの活用による観光交通を分散させる交通社会実験を複数年度実施した際、AIカメラを設置し、車の流量、速度、進行方向などのデータを取得するもので、令和5年度も引き続き、混雑状況の把握、渋滞情報、迂回路案内の情報発信等を実施。過去3年分のデータを分析し、ゴールデンウィーク期間中一番渋滞した時間帯や、別府から来る通過渋滞を県道11号に回す等の情報も得られた。

## 収納率向上対策事業

Q 収納対策委員は。

A 直接現金を徴収にあがることはしていない。口座振替、コンビニ納付、スマホからの収納など、別の収納方法がかなり広がってきている。督促状や催告書等をお送りし、窓口での相談では現状を詳しく聞き取らせて頂きながら納税のお願いをしている。今後も、職員一丸となって滞納整理に向かっていきたい。

## 健康立市推進事業

Q 報償費、謝金の執行率は50%弱。理由は。

A いきいきプラン策定委員会の出席率は59.3%、健康立市推進協議会の出席率が72.7%。体調不良や別の会議等で欠席された方には、資料と議事録を送り意見を伺った。その他、早寝早起き朝ごはん事業は県の人材バンク事業を活用したため予算執行がなく、健康支援の事業は希望者が少なかった。

## 地域計画推進事業

Q 事業計画策定業務委託に290万1,800円。令和7年3月までの策定となっており、進捗はどうか。

A 市内で100地区を想定しており、令和5年度に50地区の策定が完了している。令和6年度は、8月末時点で20地区の策定が完了しており、残り30地区についても地域で話し合いを行い、年度内の策定を目指します。

## 商工振興活性化事業

Q 異業種交流活性化支援事業補助金、執行率4.7%の理由は。

A 当初予算100万円は、2グループ分(1年間の上限50万円)を想定して計上した。前年度から引き続いたの対象グループは事業実績が低く補助額が減となり、新規の申請者も無かった。異業種交流会でアナウンスしているが、制度内容を充分協議しながら使いやすい補助事業にしていきたい。

## 観光振興事業

Q 観光プロモーション・マーケティング業務委託の事業内容は。

A 委託先は、まちづくり観光局。内容は、プロモーション業務として、誘客プロモーション214万9,950円・宣伝広告366万3,550円。マーケティング業務として、顧客満足度調査79万9,920円・域内観光実態調査239万9,980円。

Q まちづくり観光局補助金の内容は。

A 運営補助金として、観光戦略班3名分の人件費及び事業運営に係る事務費1,699万円。観光案内事業補助金として、観光案内スタッフ5名の人件費と観光案内事業に係る経費600万円。宣伝活動事業補助金として、県外プロモーションイベントへの参加、パンフレット等の作成、地元特産品を主とした景品の購入等、誘客宣伝活動に係る事業費59万3,031円。

## デスティネーションキャンペーン推進事業

Q 当初、事業を推進するにあたり、お客様の人数や消費金額の目標値は。

A 由布市として、DC前の具体的な目標値というのは抱えていなかった。大分県とJRさんも含めて行った事業だが、やはり目標値を設定し、早めの効果の検証も必要と思っている。次回のDCでは、しっかり踏まえた中で対応していきたい。

## 地域防災推進事業

Q 自主防災組織活動交付金、執行率29.2%の原因は。

A 12団体(令和4年)から20団体(令和5年)へ活用する団体は増えているが、市全体(53団体)の半数に届いていない。原因として、自主防災組織のほとんどは自治会で結成しており、役員交代で引継ぎ等がうまくいかず活動が止まっていることが考えられる。啓発として、地域等に出向いて講話を行う中で積極的な呼びかけを行っている。

## 総務常任委員会

### 由布市環境・観光振興基金条例の制定

本年10月の入湯税引き上げに伴い、超過課税分の収納額を環境観光整備に要する経費の財源に充てるため基金を設置するための条例を制定するものです。

### 工事請負契約の締結

湯平地域緊急避難所新築工事について、令和6年8月22日に要件設定型一般競争入札を執行し、8月27日付けで仮契約を締結したものを本契約とするため、議会の議決を求めるものです。

### 令和6年度由布市一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算にそれぞれ3億1,523万円を追加し、総額を236億1,483万3千円とするものです。  
当委員会の主な補正として、定額減税に伴う定額減税減収補てん特例交付金や普通交付税、

繰越金の額の確定などが歳入の主なものです。

歳出の主なものとして、若者定住住宅促進事業は、若者定住に向けた取組として旧寿楽苑(庄内町)跡地を若者定住住宅へ宅地造成を行うため、設計業務費1,337万3千円を計上するものです。委員会では、今後の事業の進め方として条件等をしっかり検討したうえで事業に着手するよう意見を付しました。

旧湯布院公民館跡地整備事業については、各種申請手続きの関係で発注が遅れたため、事業を3年間にわたる継続費として計上し、令和6年度の事業費を削減するものです。この事業に関して、安全対策をしっかりと検討するよう意見を付しました。

また、湯布院交通渋滞対策事業は「湯の坪街道」の渋滞緩和に向けて、一方通行化の実証実験を行うため120万円を計上するもので、この事業に関して、地域住民や事業者に対して事前説明を行い、合意形成を図るよう意見を付しました。

## 産業建設常任委員会

### 専決処分の承認を求めることについて 「令和6年度由布市一般会計補正予算(第3号)」

本年7月大雨災害のための対策費であり、農業用施設災害復旧費600万円、および公共土木施設災害復旧費では測量設計費、土砂倒木等の除去工事費3,090万4千円を増額する補正です。

### 令和6年度由布市一般会計補正予算(第4号)

歳出の主なものとして、観光振興事業564万3千円の増額は、観光パンフレット等増刷の印刷製本費417万5千円の追加、および東京で開催される「おんせん県おおいた地獄蒸し祭り」(11月29日～12月1日まで)参加負担金97万2千円を追加するものです。

道路整備事業4,595万4千円の増額は、5つの市道にかかる測量委託料および工事費として追加するものです。市道5路線は次のとおり。

- ①深谷長野線、②仁瀬小袋線、③長湯庄内湯ノ平線
- ④前徳野光永線、⑤阿鉢酒野線

都市計画事業596万2千円の増額は、県道医大バイパス線の北方交差点、市道向原別府線に係る交差点について周辺の土地活用の検討、調査業務委

託料との説明を受けました。

当委員会として、「地獄蒸し祭り」等、由布市を宣伝できるイベントでは、ふるさと納税の推進や市内の魅力等PRを積極的に行うよう、また、道路改良や災害対応、都市計画等における調査業務結果を基に、早期の計画化や事業化に努めるよう意見を付しました。

### 令和6年度由布市水道事業会計補正予算(第2号)

|       | 補正額       | 総 額          |
|-------|-----------|--------------|
| 収益的支出 | 214万円     | 8億3,936万8千円  |
| 資本的収入 | 3,440万円   | 8億7,924万8千円  |
| 資本的支出 | 3,809万3千円 | 11億9,021万8千円 |

収益的支出については、漏水等の対応連絡が土日が多く、夜間工事の対応で時間外勤務が増加しているとの説明を受けました。

資本的支出については、湯平橋梁工事に伴う配水管添架工事に751万3千円、また県道湯平温泉線、市道石武線、市道荒木山崎線の配水管布設替工事3,058万円をそれぞれ増額するものです。

## 教育民生常任委員会

### 由布市国民健康保険条例の一部改正

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備等及び経過措置に関する政令」が公布されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

### 大分県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について

高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、大分県後期高齢者医療広域連合規約を変更することについて、地方自治法第291条の11の規定により、議会の議決を求めるものです。「被保険者証及び資格証明書」を「資格確認書等」に改めるものです。

上記2件については、市民に対して十分な理解と認識を得られるよう、周知徹底を図るべく意見を付しました。

### 令和6年度由布市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算にそれぞれ6,873万5千円を追加し、予算総額を40億7,814万8千円とするものです。

### 令和6年度由布市一般会計補正予算（第4号）

歳出の主なものとして、食料品等価格高騰対策臨時支援金176万4千円は、副食費を現行の4,500円から国基準額4,800円に増額するものです。

障がい児受入強化推進事業の811万6千円の増額は、放課後児童クラブへの障がい児の受入人数が増加したことにより支援員を配置するものです。

4,727万3千円の増額は西庄内小学校屋内運動場大規模改修工事、1億1,974万2千円の増額は挟間小学校増築工事の設計金額確定によるものです。

学校施設について、人口動態、転出入等データをもとに、5～10年後を見据えた計画を明確にしていくなさとの意見を付しました。

### 令和6年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算にそれぞれ292万7千円を追加し、予算総額を6億6,502万8千円とするものです。

### 令和6年度由布市介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算にそれぞれ1億2,110万9千円を追加し、予算総額を45億5,002万1千円とするものです。

## 由布市議会から意見書を提出しました



由布市議会HP  
意見書のページ

### ◆ 学校給食費の無償化を求める要望意見書

#### 提案理由

国による小中学校の学校給食費無償化の実施を求めるため。

#### 意見書趣旨

政府は「こども未来戦略方針」の中で、学校給食費の無償化の実現に向けて、各自治体における取組実態や成果・課題の調査を行い速やかにその結果を公表することとしており、教育の根幹に関わる給食制度が自治体間で格差の生じることのないよう、国の責任において、全国一律での小中学校の学校給食費無償化の制度を早期に講じるよう要望する。

#### 提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

### ◆ 令和6年台風第10号の暴風雨等による災害からの復旧・復興に関する意見書

#### 提案理由

国に対し、令和6年台風第10号による被害からの復旧・復興に向けた対策を求めるため。

#### 意見書趣旨

令和2年7月豪雨・令和4年14号台風による災害が残る地域では、度重なる災害により復旧・復興の仕切り直しが余儀なくされる事態である。つきましては、令和6年台風第10号の暴風雨等による被害の復旧・復興が図られるとともに災害に強い郷土づくりが実現できるよう、要望します。

1、「激甚災害に対処するための財政援助等に関する法律」が適用されるよう、特段の御配慮をお願いしたいこと。

他4項目

#### 提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土大臣、環境大臣、官房長官、復興大臣、内閣府特命担当大臣（防災）

# 甲斐裕一議長不信任案が提出される

## 議長不信任決議

9月23日(月)議会最終日に議長不信任決議を高田龍也議員が提出者となり審議される(賛同者4名)。4名の議員が賛成・反対の討論を行ったのち、甲斐議長から申出があり一身上の弁明を行った。(不信任決議理由:要約)

- 1 一般質問追加質問を期日内(9月5日正午まで)に提出したにも関わらず、速やかに上程しなかった。
- 2 上程前に追加質問の内容を市長・執行部に、事前に判断を求めた。
- 3 締切日(9月5日)に、全国宿泊業界主催の飲酒を伴う懇談会に出席し、必要な手続きを行わなかった。



## 討論

### 反対

#### 淵野けさ子 議員

全員協議会、議運、本会議でも陳謝をしている。

またこのようなことが起きた場合には、速やかに辞職をお勧めする。

条件付きの反対とする。



### 賛成

#### 坂本光広 議員

全員協議会で議論をしたが、責任の所在、誰に対しての反省と謝罪なのか。



### 賛成

#### 鷺野弘一 議員

議会とは二代表制であり、何が基本なのか考えなければならない。

総務・市長に事前に聞くとは、議長は議会とは何かと理解していない。

9月5日に懇親会で飲酒もされ、時間がなかったという議長答弁自体が、出鱈目ではないかと思う。



### 賛成

#### 加藤幸雄 議員

議会とは、市民を代表している。市民のためになることをやるのが、私たちの仕事である。それをちゃんと動かしてくれるのが議長だと思う。



## 議長不信任決議について

### 一身上の弁明

#### 甲斐裕一 議長

今後は、議会法令、由布市議会基本条例に基づき、自らの言動は注意し、全神経を注ぎ、議長職を務めてまいりたいと思います。



採決の結果、賛成5、  
反対11で否決となりました。

## 一般質問

## 市政を問う

- 吉村 益則 議員  
「入湯税について」 他
- 加藤 幸雄 議員  
「市道の改修・補修・点検について」 他
- 田中 廣幸 議員  
「耕作放棄地の改善・対策は」 他
- 田中 真理子 議員  
「DX・デジタル政策の進捗、必要性、今後」 他
- 加藤 裕三 議員  
「フリースクール等利用児童支援補助について」 他
- 志賀 輝和 議員  
「有機フッ素化合物の水道実態調査の状況は」 他
- 坂本 光広 議員  
「避難支援計画の策定について」 他
- 鷲野 弘一 議員  
「中部林道周辺の治山ダム計画について」 他
- 渕野 けさ子 議員  
「第3次総合計画策定に向けて」 他
- 佐藤 郁夫 議員  
「地方公務員のなり手不足について」 他
- 佐藤 孝昭 議員  
「由布市のスポーツ環境整備と部活動について」 他
- 太田 洋一郎 議員  
「朝の小1の壁の対応は」 他
- 高田 龍也 議員  
「由布市の財政について」



吉村 益則 議員

「入湯税について」 他

## Q 入湯税について。

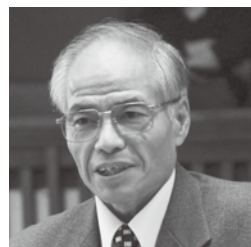
A 令和6年2月から「入湯税超過に係る事業説明会」を由布院、湯平、塚原、庄内、挾間と各地で実施し、市ホームページにて入湯税制度改正について掲載している。7月に特別徴収義務者の方へ事務説明会を実施した。この税の活用意識調査を実施し入湯税に関する審議会の中で協議を進めて行く。

## Q 人口減少と地域活性化について。

A 地域活性化の為各地域の様々な連携と地域にあったプロジェクトの推進、人口減少対策として市民が住み続けようと思える仕組みづくり、子育て環境の整備に努めると共に関係人口の創出と拡大、次世代人材育成などを目的とした事業にも取り組む。

自治組織や地域文化の維持への懸念、空き家の増加など課題も多いが次世代を担う子供たちを育くむ環境の維持と保護者への支援の拡充に努めていく。

※他に、湯布院健康温泉館、湯布院スポーツセンターについて伺いました。



加藤 幸雄 議員

「市道の改修・補修・点検について」 他

## Q 市道の改修・補修・点検についてです。市道の穴ぼこの発見情報はどこからが多いですか。

A 市道の陥没等の通報は職員の点検で発見されるケースが一番多いです。その他、電話、ゆふポスの投稿等があります。

## Q 市道の改修で下湯平・中川線は離合場所が少なく、道が狭い。早急に整備する必要があると思いますが、今は台風10号の水害で道が崩壊して通行止めになっております。生活道路ですし、210号線が通行止めの時の迂回路になります。早急な整備をお願いしたい。

A 市道下湯平・中川線は、幸野地区の道が狭く改良計画区間になっており、計画測量は令和元年度に終わっています。令和7年度から用地測量を着手し、事業推進を図っていく予定です。

## Q 由布市の遊休地・放棄地について。入会地の管理者より有効活用が提案された場合、どのように対応されますか。

A 入会地の管理者から有効活用の提案内容の目的や計画等を確認して対応しております。



田中 廣幸 議員

「耕作放棄地の改善・対策は」 他

## Q 耕作放棄地の改善・対策は。

A 農業や集落を総合的にサポートする組織が市内9つの法人があるが、「由布農業サポート」が安定した経営ができるよう、引き続き、支援をする。農地パトロールを通し地域内の耕作放棄地の発生防止と農地バンク制度などで農地の貸借希望等、担い手への農地集積の推進に努めている。有害鳥獣による被害については、猟友会と連携し罠の設置を行っているが挾間町中心部に、多くのイノシシやサルを目撃情報があり、職員がパトロールや追い払いを行っている。

## Q 由布川地域、挾間地域の人口増について。

A 通学路の安全確保は「由布市通学路安全推進会議」において危険箇所の把握と安全確保に努めている。小中学校の教室不足もありそれぞれ増築が必要。待機児童の件では、地域子育て支援センターの皆様には、子どもや保護者の居場所・交流の場として重要な役割を担っていただき感謝しております。



## 田中 真理子 議員

「DX・デジタル政策の進捗とその必要性、今後について」 他

### Q DX・デジタル政策の進捗とその必要性、今後について。

A 由布市DX推進計画を基に、DX推進プロジェクトチームで着実にICT化・デジタル化を進めている。施策の進捗は、総合窓口支援システム、窓口による市民の滞在時間の短縮、職員の事務負担の平準化、ペーパーレス会議による紙の削減、製本にかかる作業時間の削減など、また情報格差対策としてスマホ教室等開催し、デジタル技術の利用向上を図ると共に、オンライン申請や総合窓口の拡充を進め、住民の利便性の向上に取り組みたい。

### Q 将来の農業に危機感。農業の課題、農家の声が届いているのか。

A 米不足については、原因が様々ある中、小売店などで在庫不足になっているものと認識している。市の食料・農業・農村基本計画を基に、市の総合計画や振興地域整備計画等に基づき農業政策を実施していく。今後も農業に対する声に耳を傾け、施策に反映できるよう努めたい。



## 志賀 輝和 議員

「有機フッ素化合物の水道実態調査の状況は」 他

### Q 発がん性が疑われる有機フッ素化合物の水道水実態調査の取り組み状況は。

A 給水人口5千人以上の上水道施設は令和3年度より、5千人未満の旧簡易水道施設は本年度より検査を実施している。すべての検査において1リットル当たり5ナノグラム未満で、国の基準値1リットル当たり50ナノグラムを下回っている。

### Q 災害関連死を認定する審査会規定条例の設置についての市の見解は。

A 由布市災害弔意金の支給条例の一部改正で対応できるかどうか現在検討中である。今年度中の制定に向け準備を進めていく。

### Q 国の特例貸付の貸付及び返済状況の由布市の実態について伺う。

A 特例貸付の総件数は1,204件、貸付総額は482名、5億1,723万5千円。本年3月までに返済をしなければならない金額は3,967万8千円、このうち返済が出来ていない金額は1,830万2千円である。市として返済が厳しい人には社会福祉協議会とともに支援をしていく。



## 加藤 裕三 議員

「フリースクール等利用児童支援補助について」 他

### Q フリースクール等利用児童支援補助について。

A 令和6年度の不登校の状況は59名で昨年の同時期と同程度。保護者等からの相談は、昨年度スクールカウンセラーが946回、スクールソーシャルワーカーが137回面談を実施。フリースクール利用の支援補助金は由布市では設けていない。今後、保護者等からの要望や必要性のある状況になった場合、他の自治体の事例を参考にし、予算状況等を踏まえ具体的な施策について協議したい。

### Q 地区集会所及び自治公民館について。

A 公民館は地域社会でなくてはならない公共の空間だと考えている。湯布院の自治区と締結している指定管理協定は、令和8年3月31日までとなっている。協定満了に向け、自治区に無償譲渡する説明会を、令和3年から随時開催してきた。老朽化、修繕を伴う耐震化工事には、今後も公民館施設整備補助金で対応していきたい。

※他に、「空き家対策について」「由布市横断自動車道構想について」について伺いました。



## 坂本 光広 議員

「避難支援計画の策定について」

### Q 災害時要支援者の情報を管理、共有し、要支援者に対して複数の避難支援者を定める等の具体的な避難支援計画の策定について、現状はどうですか。また、指定福祉避難所の数と定員数を教えてください。

A 対象者870名は、要介護3から5の方、身体障害者手帳1・2級、療育手帳A1・A2、精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方、難病指定を受けていらっしゃる方を想定しており、本年8月時点で785名です。さらに自主防災組織や自治委員、民生委員等が支援の必要性を認めた方、また、自ら名簿登録を希望された方が499名おられ、計1,284名、そのうち227名、17.7%の方の策定を終えています。指定福祉避難所につきましては、現在、由布市内におきまして19施設、受入れ可能人数は217名です。個別避難計画の中には、本人の情報、状態、持ち出し品、お薬、かかりつけ医、自宅のリスク、緊急時の家族等連絡先等を登録しております。



## 鷺野 弘一 議員

「中部林道周辺の  
治山ダム計画について」 他

**Q** 近年の水害被害が多発する中、令和2年度の重大な災害が発生した、平石・中（深谷川）・長野（中虎川）付近の災害が酷く、中部林道が災害の元でないかと大分県に対し申し入れを行ったが、現在、平石地域治山ダム計画が着工しているが、他の地域の計画について尋ねる。

**A** 中・長野の治山ダムの計画について、大分県中部振興局によると、令和2年に議員より申し入れがあった箇所、林道長野上組線に並列する丸山地区中虎川で県営の治山工事を本年度より行います。令和6年度に測量設計業務、工事は令和7・8年度治山ダム4基の設置を計画しています。次に、中地域では、中地区深谷川において、杉田製材所横の市道より上流に平成5・6年度に治山ダム上流に2基、下流に1基設置しておりますので、さらなる事業計画ありません。今後、山腹崩壊等が生じた場合、大分県と情報共有しながら対応していきたい。

※他に、8月の食中毒事故に対し風評被害対策について等。



## 湊野 けさ子 議員

「第3次総合計画策定に向けて」 他

**Q** 今後作成する第3次総合戦略と総合計画の策定に向け、社人研の示す人口ビジョンと由布市独自の人口ビジョンとどちらに基づいて総合戦略等を策定するのか。

**A** これまでと同様に社人研が示す将来推計人口をベースに分析を行い、人口減少対策の施策の展開、その効果を想定した上で人口の将来展望を示したい。人口減少の速度を緩やかなものにしていくため、第2次総合計画の評価を丁寧に行い、第3次総合計画の策定を進める。

**Q** 由布市居住支援協議会の設立はいつできる。

**A** 今後の予定は、令和7年度の設立を目指す。

**Q** サンコーボラスの入居率が極端に低い。一部改修して住宅支援に利用できないか。補助金もそのためにあると思う。

**A** 利活用については公営住宅法等を参考に研究。

**Q** 市民へのお知らせサイレン放送は、サイレンを鳴らす意味、内容を今一度市報等でお知らせを！

**A** 御要望があれば、市報で市民の方に周知したい。



## 佐藤 郁夫 議員

「地方公務員の  
なり手不足について」 他

**Q** 地方公務員のなり手不足について。自治体職場は業務増大と、毎年のように発生する大規模災害の対応に加え若年層の退職が増加し、人員不足による課題が浮き彫りに。市民サービス向上につながる人員確保、職員の働き方や改善対策を。

**A** 退職に伴う補充は、翌年に採用し市民サービス低下にならないように努めている。デジタル化で、市民が来庁時の待ち時間短縮など効果あり。職員育成は研修計画に基づき育成し、災害復旧などに支障がでないようにしていく。

**Q** 学校給食費の無償化について。小中学生給食費無償化するには、財源問題や諸課題を整理し制度設計が必要と思うが、どう取り組むか。

**A** 給食の年間食材費は約1億3千万円の財源が必要。補助金の交付要綱、対象者の範囲、通学形態による無償化分の給付の是非など制度設計し、前向きに検討していく。

※その他、旧庄内公民館の利用計画と由布市幼稚園、小・中学校の規模及び配置の適正化について質問しました。



## 佐藤 孝昭 議員

「由布市のスポーツ環境  
整備と部活動について」 他

**Q** 由布市のスポーツ環境整備と部活動について。市内中学校の野球部は、挟間中は単独、湯布院・庄内中は合同チームで運営をしてると聞きます。今後、いろんな部活動も合同チームで運営していくと思うが、統一チームでのユニフォームやヘルメット等が保護者の負担になっている。合同チームにする場合、助成や補助の検討は。

**A** 市中学校体育連盟で補助金を出し運営費を割り当てているが、全てが賄えられてない厳しい面がある。議員がいうヘルメット等は、監督や保護者と相談し、学校の教職員、特に校長等としっかりと補っていかけるか協議していかなければいけないと思う。

**実態を確認し、できるだけ保護者の負担の有無で子ども達が部活動をできない事の無いよう、負担軽減の助成や補助をお願いします。**

※ほかに「小中学校やスポーツ施設の体育館エアコン設置」「アーバンアニマルの対策は」「地域の伝統行事や文化財の継承や維持・保存を」等について質問した。



**太田 洋一郎** 議員

「朝の小1の壁の対応は」 他

**Q** 朝の小1の壁の対応は。子どもが小学校に入学すると、保育園より登校時間が遅くなり保護者の出勤時間に影響したり、子どもが登校時間まで一人で過ごすことを余儀なくされるケースがあると聞く。由布市の現状と対策はどうか。

**A** 現状を把握し、子どもの朝の居場所をいかに確保できるかを、先行して取り組んでいる自治体を参考に考えたい。

**Q** 大阪の府中市では、今年度から市内全小中学校の体育館を朝7時から専用スタッフを配置し解放する取り組みを実施している。参考にしているのか。

**A** 先行事例も参考にしながら、今後の対応を考えたい。

**Q** 公衆トイレなんとかして。観光地湯布院の課題の一つとして、来訪者数増加に伴い公衆トイレが足りない、また、稼働中のどのトイレも処理能力をオーバーしていると聞く。新設や増築が急務と考えるが。

**A** 湯の坪街道沿いの児童公園公衆トイレ増設が現実的と考える。財政面等、調査研究したい。



**高田 龍也** 議員

「由布市の財政について」

**Q** 由布市の財政について。旧湯布院公民館跡地整備事業の亀の井バス線の工事負担金を伺う。

**A** 8月に工事負担等に関する協定を締結した。正式な金額は工事完成後だが、現計画の段階では約二千万円程度です。内容は、バスロータリー舗装工事、歩道と車道の境界ブロック路側工事、交通誘導標識設置、バスロータリーの区画線工事、仮舗装撤去工事などです。

**Q** バスロータリーの既存アスファルト舗装解体工事は、亀の井バスが自主的に工事をするのか。

**A** アスファルト舗装解体は市の予算範囲内で行いたいと思う。

**Q** そうであれば幾らかかるのか、バスロータリーの所有権の移譲をしたのか。

**A** 由布市側から話を持掛けたので、亀の井バスの所有のままになります。

## 議員派遣に伴う研修報告

研修視察者：田中真理子、瀧野けさ子

場所・日時 福岡市・令和6年8月1日～2日

### 研修内容

1. 今から備える人口減少対策（まちひとしごと総合戦略）
2. これから必須、DX・デジタル政策

### 成果の活用

人口減少により、多岐にわたる地域課題に対する施策も多岐にわたるようになる。例えば、公共サービスやインフラ維持の縮小、地域経済・コミュニティの衰退、教育、空き地等。

地域版総合戦略の中で特に重要なのが、人口ビジョンとKPI。目標達成する上で必要不可欠な指標だが、由布市では出来ているのか。

人口減少が進行する中、市民サービスを落とさないためには、自前主義と個別最適を捨て、行政の業務に集中する必要がある。公共サービス提供者を、行政だけでなく、民間やNPO等に拡大するという視点を学んだ。

人口減少対策、デジタル政策、共に有意義な研修でした。人口が減少する中、地域力をどう高めるか、一人の負担は大きく地域の慣習、存続、コミュニティ等、維持・持続させるための課題を行政へ投げかけていきたい。

DX・デジタル政策については、避けては通れない政策であり、その状況を把握しつつ活用の在り方、財源、人材削減、効率化等、機会ある毎に進捗を確認していきたい。

## 「由布市議会だより」の表紙写真を募集中

年4回(5月・8月・11月・2月)市内の全世帯に届けられる「由布市議会だより」表紙をあなたの写真で飾ってみませんか？

### ◆ 募集する写真

「由布市」をテーマとした、人物、四季折々の風景、お祭り、地域行事などの写真。

### ◆ 応募方法

市議会ホームページ、議会だよりのページにある受付フォームに沿って必要事項を入力し、応募することができます。

### ◆ 応募締切日

次回、2月発刊号の表紙写真  
応募の締切日は

**令和7年1月10日** です。

※応募条件、応募上の注意点、選考方法等の詳細については「募集要領」をご覧ください。

応募フォーム、募集要領  
についてはこちらから



(市議会HPへのリンク)

## 視察研修報告

## 総務常任委員会

## 調査研修の期日

令和6年7月24日(水)～26日(金)

## 調査研修視察者

(委員長) 太田 洋一郎 (副委員長) 坂本 光広  
 (委員) 甲斐 裕一、平松 恵美男、加藤 裕三  
 (随 行) 議会事務局



## 1 長野県塩尻市 (一般社団法人 塩尻市振興公社「core塩尻」)

塩尻市

## 「塩尻市の地域DXの取り組みについて」

塩尻市のDX戦略は、デジタル技術によって生活の質が向上することなどで、誰からも喜ばれるまちにするために、「行政DX」と「地域DX」の両輪で動いていくことによって進めており、行政内部のDXは、窓口のオンライン化や、紙ベースだった書類などをデジタル化することなどで効率化により組織変革で生まれた人的資源を「地域DX」の事業に投入し、市としての地域の課題解消につなが

る持続可能な仕組みを作ること、中長期的に生活の質の向上を目指すものでした。

その拠点となるのが「core塩尻」で、地域事業者(産)、学生や教育機関(学)、自治体や行政(官)、地域住民(民)の産・学・官・民が共同でプロジェクトを行っています。

※DXとは、デジタルトランスフォーメーションの略。デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革することを指します。

## 2 長野県南箕輪村

## 「移住定住対策、人口増加対策の取り組みについて」

南箕輪村は、毎年のように人口が増え続け、およそ40年で1.6倍に増加しており、理由として真っ先に挙げられることとして、移住者の多さでした。

村の人口に占める移住者やその家族の割合は7割以上と高くなっており、理由のひとつが立地の良さと宅地の安さだとされており、居住地域が約20平方キロメートル内に集中しており、村内には保育園から大学までありました。また、中央道の伊那ICから首都圏などへのアクセスが良いことも利便性の観点から移住を決める要因となっていました。

もう一つの魅力が、長年続けてきた子育て支援でした。村は、およそ20年前に保育料を5%引き下げ、その後も段階

的に下げ続けるなど、子育て世代が生活しやすい環境を整備してきたと説明を受けました。

その他にも、保育園の時間外に預けるシステムや放課後児童クラブが一律19時(由布市内でも19時までのクラブもある)まで利用可能であったり、小学校体育専科教員の配置等、どの事業もニーズを把握し、きめ細やかな事業であり、何より子どもに関する窓口を一元化していることは、子育て世代に寄り添った便利なサービスであると感じました。



南箕輪村

## まとめ

塩尻市の「地域DX」の取り組みは「core塩尻」を拠点として、地域の人ができること、企業ができること、そして、一緒にできることの3つのことが多様なニーズに対応できており、運営管理を行う一般社団法人「塩尻市振興公社」のスタッフの専門性の高さやスペシャリストの育成が重要な要素だと感じました。

由布市でも、「行政DX」「地域DX」の取り組みは進んでいるが、より専門性の高い職員の育成が必要と強く感じました。職員数など行政規模が違い難しいとは思いますが、地域課題解決に向け、塩尻市の取り組みを是非参考にして欲しいとも感じました。

また、南箕輪村の移住定住対策・人口増加対策の感想と

して、20年前から力を入れてきた子育て支援によって移住者が増加しているが、何より移住者を受け入れる体制が根付いており、これが人気の一因であり、「子育てするなら南箕輪村」と移住者からの口コミで広がっていることも大きな要因であった。

そして、村の周辺自治体に就労先の事業所が多く通勤圏内の立地も好条件であると説明を受け、由布市も南箕輪村と同じく、就労先が多い大分市と隣接していることから、移住先には選ばれるような様々な取り組みを進め、子育て世代に向け、きめ細やかなニーズに応える子育て支援策や教育環境の更なる充実など、参考になるヒントが沢山あると強く感じる研修となったことを報告いたします。

## 視察研修報告

## 教育民生常任委員会

## 調査研修の期日

令和6年7月2日(火)～4日(木)

## 調査研修視察者

(委員長) 田中 真理子 (副委員長) 志賀 輝和  
 (委員) 佐藤 郁夫、加藤 幸雄、吉村 益則  
 (随 行) 議会事務局

## 1 愛知県大府市

## 認知症不安ゼロ作戦・認知症サポーター養成2万人チャレンジの取組について

「認知症になりにくいまちづくり、または認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」というコンセプトに沿って、①脳とからだの健康チェック、②プラチナ長寿健診、③コグニノート、④安全運転技能検査等を国立長寿医療研究センターと共同で事業を展開しています。

また、「おおぶ・あったか見守りネットワーク」に登録した方の見守り、サポーターによる早期発見、早期対応を行うなどコンセプトに沿って「いつまでも住み続けたいサステナブル健康都市おおぶ」を目指して取組みを行っています。



大府市

## 2 三重県伊勢市（健康福祉ステーション）

子どもから高齢者まで全世代の市民の健康と福祉を総合的に支援し、いつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らせる**笑子幸齢化（しょうしこうれいか）**のまちづくりを進めるため、令和5年5月伊勢市駅前ビル内に、5階(市民の健康づくり、子どもの育ちや発達支援拠点)、6階(妊娠、出産、子育て世代支援拠点)、7階(福祉の総

合相談支援拠点)を開設しています。

妊娠から子育て期のライフステージに応じた切れ目のない包括的な相談・支援、子どもから高齢者まで、各関係機関と連携・協働しながら支援をしています。

職員106名。年間利用者数5,732人。年間相談件数15,377件。賃借料1億円程度は市の負担です。



伊勢市

## 3 三重県桑名市

## 桑名市教育研究所、インクルーシブ教育環境整備事業の取組について

桑名市教育研究所は、桑名市教育委員会の学校支援課内に、桑名市の教育発展に寄与することを目的に設置しています。教育現場に役立つ研究調査、教職員の資質の向上を図るための研修、教育相談、不登校児童・生徒の援助・指導につ

いての研究、教育支援センターにおいて自主・自立の力をつける支援などを行っています。

インクルーシブ教育環境整備事業は、市内公立学校における段差解消、多機能トイレ、エレベーター設置など、学校施設の整備改修を進めています。



桑名市

## まとめ

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに、保健師、行政間の連携、啓発、民間のサポート養成など一貫性のある取組が、高齢化社会において必要不可欠なものとなり得る。今後、環境の整備、各機関との連携、地域の協働等により、課題解決へ向け取り組んでいきます。

伊勢市健康福祉ステーションは、福祉の拠点を一か所に集め、切れ目のない支援と設備。この切れ目のない支援ができないか、何とか工夫ができないか、検討の余地はある

と思います。今後何か所も移動することがない支援の有り方を考えていきます。

最後の、学校教育については、教職員の働き方改革に取り組む一方、多くの児童・生徒が取り残されることなく将来の目標に向かって自立できるよう、教育の観点から支援していく重要性を感じました。今後も、教育環境の整備充実を図るとともに、健やかに育っていくための政策について調査研究を進めてまいります。

## 視察研修報告

## 産業建設常任委員会

## 調査研修の期日

令和6年7月22日(月)～24日(水)

## 調査研修視察者

(委員長) 田中 廣幸 (副委員長) 高田 龍也  
 (委員) 佐藤 孝昭、佐藤 人己、淵野 けさ子、長谷川 建策  
 (随 行) 議会事務局

## 1 北海道札幌市

## 「札幌市6次産業化・地産地消推進戦略」

農業に関する課題として、直接販売する農家が増えている一方で、札幌産の農産物を購入する市民は半数にとどまっているとのこと。また、環境保全型農業に取り組む農家も急増しており、安心・安全な札幌産ブランド(さっぽろとれたてっこ)の推進、6次産業化、地産地消の取組に支援をしています。また、地域に合った作物の生産普及や地域間流通拡大をするため学校給食での利用や直売所での販売を推進しています。

加えて、都市と農業の共存に向けた拠点づくりとして「サッポロさとらんど」を設けており、家畜とのふれあいや乳製品加工場見学、ふれあい農園では栽培から調理まで体験できるなど、様々なゾーンやイベント等を通して入場者(令和5年度75万人)から親しまれています。



札幌市

## 2 北海道美瑛町

「農業と観光を融合した体験型観光の開発」  
「オーバーツーリズム対策」

美瑛町の地形は概ね波状丘陵地で、その丘に広がる小麦畑の美しい景観や「青い池」などが有名です。それらの観光スポットを目指して来町する観光客が多くなっています。「パッチワークの丘」など農業景観が海外で話題となったことから、町内への入込客数が240万人(令和元年)に増加している状況です。

これらの農業景観は地元農家の私有地であるにも関わらず、観光客の中には無断で農地に入り込み、作物を踏み倒しながら写真撮影する姿が散見されるようになり、そのような行為が、魅力的な景観であった「哲学の木」や「マイルドセブンの丘」の木、近年では人気タレントグループが撮影された場所の木も伐採に至った一因にもなっているようです。

これまで、その対策として注意喚起のチラシや看板を多言語表示で作成しましたが、周知しきれないのが現状。このままでは「農業」と「観光」が対立し、地域にとって最も危惧

すべき問題から、体験型観光の開発を始めました。

プログラムの中では、専属ガイドを設け、農地や畑の意味、また実際に歩き、収穫体験、食事等を行うことで、景観の役割を理解してもらうことを目指しています。

観光客増加により、観光スポット周辺の路上駐車や交通渋滞などの問題発生により、対策としてパークアンドライドの駐車場の整備や侵入検知カメラによる監視で、農地への立入りを減少させています。

「みんなの美瑛町」を次世代へ引き継いでいくことを目的に、「美瑛町持続可能な観光目的地実現条例」を制定しました。この条例は、町民・観光事業者・訪問者それぞれの役割や、生活環境および景観に害する行為の禁止等を定めています。



美瑛町

## まとめ

人口減少・高齢化社会を迎える近年、中山間地の多い由布市において、これからの農業は持続可能なのか。研修を終え、由布市内の農畜産物の品目、面積、収益性を今一度洗い出し、J Aや商工会、観光協会との連携が必要です。

由布市内にも農産物直売所がありますが、出品物が年々減少しているようです。農地の利用も少なくなっています。しかしながら、中には農業をしながらレストランを営む方、地元農産物を加工し販売している方もおられ、こう

いう農業のありかたもあるように思います。

また、由布市には観光地が多くあります。湯布院町の観光客は年間400万人とあるが、一か所に集中しオーバーツーリズムとなっています。市としても対策をしていますが、これも限界を迎えつつあります。住民の生活環境や景観は、行政・市民が協力し、守り育てること。地域農業はその景観づくりにおいて重要な資源であると、この視察を終え改めて確認しました。

## 令和6年第3回定例会で審査した請願・陳情の結果

| 区分  | 件名                                                          | 代表提出者                            | 結果   |
|-----|-------------------------------------------------------------|----------------------------------|------|
| 陳情5 | 2種運転手不足の昨今、「旧町内を昼間」なら、タクシー会社の運行管理で「白ワゴン、1種免許(認定講習)」でも良いのでは? | もっと便利なコミュニティバスを考える会<br>代表 千竈 八重子 | 継続審査 |

## 賛否一覧表

[令和6年第3回定例会]

※○=賛成、●=反対、除=除斥 議長(甲斐裕一)は採決に加わらない。  
※その他の上程された議案については、全員一致で認定・承認・同意・可決した。

| 議案名  |                                           | 議員名  | 議決結果 | 賛成 | 反対 | 除斥 | 甲斐裕一 | 佐藤孝昭 | 田中真理子 | 佐藤人己 | 湊野けさ子 | 佐藤郁夫 | 長谷川建策 | 鷲野弘一 | 加藤幸雄 | 太田洋一郎 | 平松恵美男 | 加藤裕三 | 田中廣幸 | 吉村益則 | 坂本光広 | 高田龍也 | 志賀輝和 | 首藤善友 |
|------|-------------------------------------------|------|------|----|----|----|------|------|-------|------|-------|------|-------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 議案56 | 令和6年度由布市一般会計補正予算(第4号)                     | 原案可決 | 15:2 | —  | ○  | ○  | ○    | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ●    | ○    | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案64 | 工事請負契約の締結について                             | 原案可決 | 11:6 | —  | ○  | ○  | ○    | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ●    | ●    | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案65 | 工事請負契約の締結について                             | 原案可決 | 11:6 | —  | ○  | ○  | ○    | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ●    | ●    | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案68 | 財産の取得について(追認)                             | 原案可決 | 16:1 | —  | ○  | ○  | ○    | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 議案69 | 財産の取得について(追認)                             | 原案可決 | 15:2 | —  | ○  | ○  | ○    | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 発議3  | 学校給食費の無償化を求める要望意見書                        | 原案可決 | 15:2 | —  | ○  | ○  | ○    | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 発議4  | 議長不信任に関する決議<br>※議長が除斥のため、副議長(佐藤孝昭)により議事進行 | 原案否決 | 5:11 | 除  | —  | ○  | ○    | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

### 編集後記

由布市は今年も災害に遭いました。8月の地震、台風10号による交通遮断、河川の氾濫等、毎年来ると思った防災計画が必要です。

先日、議員研修会で防災対策を学びました。災害大国日本だそうです。地震、火山の噴火、台風等々を含めて世界に近いです。

災害はいつ生じるかだそうです。由布市のハザードマップを今一度確認ください。避難場所、駐車場、水・食料等の確認、「私は何処に行けば良いの」に、ならないために。

私たち議員は市民の皆さんが災害に遭わないこと、安心して避難できる場所等の確保を今後も続けていきます。

加藤 幸雄

議員は公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されております。

- 初盆のお供えやご仏前
  - お祭りへの寄附や差し入れ
  - お中元やお歳暮
  - 年賀状や暑中見舞いなど時候の挨拶
  - 病氣見舞い
  - 葬式の花輪や供花
  - 本人が出席しない場合の結婚祝や香典
  - 地域の行事やスポーツ大会への寄附や差し入れ
- 市民の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

### 市議会ホームページ



### 議会広報編集特別委員会

委員長 志賀 輝和 副委員長 高田 龍也  
委員 田中 真理子 加藤 裕三  
湊野 けさ子 田中 廣幸  
加藤 幸雄 坂本 光広  
太田 洋一郎

次の由布市議会は11月29日(金)に開会予定です(令和6年第4回定例会)